

早稲田都市計画フォーラム FORUM NEWS

Vol.4
1995.4.9

早稲田都市計画フォーラム寄付講座「現代都市・地域論」

現代都市・地域論演習Bを担当して

藤井敏信（十文字学園女子短期大学）

1. ねらい

「参加型のまちづくり」は都市計画の基本概念といえるが、本演習では都市の生活環境形成におけるさまざまな課題を、街の踏査を通して多角的にとりあげることをねらいとした。地域の生活にこだわり、地域の空間を実感し、地域を語る固有のこトバを発見することにつながればと願って進めている。

2. 意欲的な講師陣

密度の高い作業を行い、またまちづくりの実務の一端を示して頂くために、次のような専門家の参加が不可欠であった。共に担当された方々には、寄付講座の主旨を心よく了解され、熱心にご教授いただいたことに感謝したい。

井上赫郎、内田文雄、遠藤二郎、荻原正道、大戸 徹、
斉藤 進、長谷川正允、望月真一、和田英樹。

3. 演習の内容について

まず、地区の踏査から始めた。東京区部の数箇所や新大久保・百人町を調査地区とし、各回ごと課題テーマに対応して適宜グループを編成した。土曜日午前の現地調査「歩くこと」から始め、金曜日夕方の教室作業「まとめ（解説、表現）」へと、数週ごとのサイクルを組んだ。全13回を通してやや詰め込み過ぎの感があり、消化不良気味ではなかったかと、いくらか反省している。

受講者（主に学生、約40名）は、金曜日は「夜に強く」、しかも数回ある土曜日は「朝に強く」なくては出席できないなど、少々きつい条件下ではあったが、総じて意欲的で、異なる立場の意見や議論に刺激を受け、当初のねらいであった「各週、各課題ごとに発見のある時間の共有」は一応実現したように思う。地区踏査「歩くこと」による特性や問題点の発見については、たとえば大久保・百人町地区で「都心居住、密住、子供の環境、外国人居住、共生、ゴミ問題、防災、道路・公園利用、町内会、コミュニティ形成」などが課題としてとり上げられ、多彩な能力が示された。

さらに具体的な提案でも「広場、公園、道路、街区、公共施設、建替え」等について、それぞれに新しい視点もあり、確かな手ごたえを得た。残された問題は、この間をつなぐプロセスにある。地区の複雑な構造や特性を計画の中にもどこまで織り込むか、リアルなまちづくりの状況をいかに重ね合わせるかについて、より具体的に作業を展開して行く必要性を強く感じている。

4. 知恵と技術を

他の科目ではとうていできないくらい贅沢に、時間とモノを使い、毎回「猪突型の試み」を行っているが、果たして会員諸兄のご期待にそう成果が得られたか心許ない。最後の3年目はどのようにしてゆくか、最新のまちづくりの知恵と技術をより一層結集できればと思う。またぜひこの演習の現場へも訪ねてきて頂きたい。



早稲田都市計画フォーラム主催

「住民参加のまちづくりゲーム」のお知らせ

毎月開催している連続セミナーに替えて、4月は日本地方自治研究学会、東海大学社会科学研究所、早稲田都市計画フォーラムの3団体が合同で主催する「住民参加のまちづくりゲーム」を行います。（参加費無料）

■開催日時：平成7年4月22日（土）午後2:00～6:00

■会場：早稲田大学理工学部キョウガ 55号館N棟1階大会議室

■プログラム：1 解説「まちづくりゲーム」について

佐藤 滋（早稲田大学）

2 ゲーム

3 コメント「地方自治とシミュレーション・ゲーム」

白鳥 令（東海大学）・本田 弘（日本大学）

■主催：日本地方自治研究学会

東海大学社会学研究所

早稲田都市計画フォーラム・寄付講座「現代都市地域論」

■進行：早田 宰（東京立大学）

早稲田大学都市計画佐藤 滋研究室

■問い合わせ：東海大学政治経済学部 岩崎 正洋／白鳥 令研究室

TEL 0463-58-1211（代表）